

## 令和元年度 淀川区生涯学習推進会議 議事要旨

日 時：令和2年2月21日（金）19：00～20：15

場 所：区役所 501 会議室

出席者：委員（括弧書きは所属団体名）

三田委員（淀川区人権啓発推進会議）

辻川委員（大阪市人権啓発推進員淀川区連絡会）※委員長

西田委員（加島・三津屋地区人権教育研究ネットワーク）

出口委員（淀川区 PTA 協議会）

島林委員（淀川区体育厚生協会）

竹川委員（淀川区老人クラブ連合会）

大塚委員（淀川区スポーツ推進委員協議会）

南條委員（淀川区青少年指導員連絡協議会）

小合委員（淀川区生涯学習推進員連絡会）

原田委員（淀川区生涯学習関連施設連絡会）

屋島委員（淀川区学校園長・中学校）

### 区役所

山本区長、中喜多副区長、榊原教育支援担当課長、佐多課長代理、澤田係長

### 会議内容

#### 1 はじめに

- (1) 区長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 本日の流れについて説明
- (4) 平成30年度 淀川区生涯学習推進会議について振り返り

#### 2 議案

- (1) 「第3次 淀川区生涯学習推進計画」策定後の区役所の取組について事務局（区役所）より、計画の柱ごとについてパワーポイント資料を投影しながら説明

#### 委員より補足

- ① 3 ページ 生涯学習フェスティバルに子供会出演（小合委員）
  - ・前回の推進会議直後から準備し、実現にいたった。
  - ・他区の生涯学習推進員からも大変好評だった。
  - ・団体間の垣根が低くなったように感じた。
  - ・その後、老人クラブ連合会からも生涯学習フェスティバルでの協力のお話があり、非常に嬉しく一緒に力をあわせてやっていきたい。
- ② 4 ページ ニューススポーツ体験講座（大塚委員）
  - ・スポーツ推進委員としては、皆さんに週1回はニューススポーツに触れていただきたいと思っている。

- ・年6回生涯学習ルーム講座で実施予定（三国校区）。三国校区の講座では老人会や子どもたちの参加も多く、好評と聞いている。他にも、三津屋校区で実施している。
- ・ニュースポーツを広めていきたいと考えているので、生涯学習ルーム講座以外の形で他の校区でも広めていっている。
- ・地域に根差して実施する方が参加者も参加しやすいようなので、各地域でニュースポーツ体験の要望等あれば、スポーツ推進委員までお知らせいただきたい。

③9 ページ 放課後学習会（辻川委員長）

- ・学習会終了時には外が暗く危険であるため、子ども見守り隊の方々に協力いただき、地域と連携して教育コミュニティづくりができた。

④17 ページ 広報力アップ講座（三田委員）

- ・これまで地域活動において広報活動は行ってきたが、初めてプロのデザイナーから学ぶことができ、大変勉強になった。新しいアイデアが多く、参考になった。
- ・区役所の広報もこの講座の内容を参考に工夫していけば、より効果的な広報ができるのではないか。
- ・講座時間の90分では足りず、もっと教えてもらいたいと感じた。

(2) 今後の区役所の取組等に対するご意見について

事務局（区役所）より、上記（1）の説明とあわせて簡潔に説明。

委員からの意見等

- ・西田委員（パワーポイント資料 24 ページ 東淀工業高校との連携）

この会議前に、東淀工業高校の校長先生に本件について話をしたところ、機械工学科では子どもが乗ることのできるSLがあり、フェスティバル等で展示ができるとおっしゃっていた。

実際に学校へ行ったことがあるが、学校には精巧で重厚な機械が揃っており、非常に高い技術があることがわかる。校長先生からは、出前授業等で出張することもできるが、実際に高校に来てもらった方が多くの機械に触れることができ、ものづくりの楽しさをより体験できるため、東淀工業高校を会場に地域の小中学生に集まっていたくことができればありがたいとお話があった。

- ・屋島委員（パワーポイント資料 24 ページ 東淀工業高校との連携）

現状工業高校を選択する生徒は少ないが、ものづくりに興味を持っている生徒はいると思う。実際にその現場を見ること等で子どもたちの興味関心が強くなることは、これまでの経験でも感じているところである。体験等を通じて生徒の将来のきっかけ作りができれば素晴らしい。地域の職人さんとも連携しながら進めていければ、より良いのではないかと思う。

- ・竹川委員

老人クラブ連合会ではさまざまなサークル活動をしており、老人クラブ連合会も生涯学習フェスティバルに参加させていただく等できれば、我々の楽しさが伝わると思う。まずは広く皆さんに知ってもらいたい。お互いを知るために

は、生涯学習フェスティバルをうまく活用することが効果的なのではないか。

広報については、自分から情報を収集するわけではない消極的な層に対してどうアプローチしていくか考えている。皆さん小学校区単位での行動が中心であると思うので、隣接地域をブロックにまとめて、行きやすい参加しやすい取組を考える必要がある。

テーマやターゲットを絞って効果的な広報すればおもしろいのではないか。参加者の開拓（広く知らしめる）がこれまで中心であったが、ターゲットを深掘りしていくことも必要。広く知らしめるにはまず目につくように工夫することだが、それを継続していくことが重要であるので、このまま取組を続けてほしい。

・ 島林委員

パワーポイント資料の10ページのアンケート結果を見ると、「スポーツ・健康」の需要が思いのほか高いが、アンケートの対象年齢などが知りたい。

（区役所）18歳以上の区民の方を無作為に選んでいる。年齢層ごとの結果なども集計できと思うので、集計結果について今後共有したい。

健康寿命との兼ね合いが「スポーツ・健康」に対してのニーズが高いことを興味深く感じている。昨今行事全般について参加人数が減っていると感じているので、健康志向をうまく活かして、体育厚生協会としてもスポーツ推進委員と連携しながら取組をすすめていきたい。区役所のデータも参考にしていきたい。

・ 出口委員

PTAの立場から考えると、生涯学習は子ども、地域、学校が接する機会を作ってあげることが一番であると感じる。先ほどスライドで紹介のあった「防災タイムアタック」については、2年前に美津島中学校で子どもに防災リーダーとなってもらい、地域や学校、PTAや他団体と一緒に取り組んだ。それによりつながり作りができたと感じており、やはりつながりを持つことが大切である。

・ 南條委員

青少年指導員として、20年ほど前は夜に出歩く子どもたちに対しての指導が中心であったが、今は夜見かける子どもが少ない。ただ、非行がなくなっているかと言われれば、SNSを通じた問題等が生じている。その中で何かに興味を持って活動してもらうことが有効であると考えており、ニュースポーツ等を軸にイベント等で取り組んでいきたい。

先ほどのスライドやPTAさんから話のあった「防災タイムアタック」について、青少年指導員も活用している。

(3) 「第4次 淀川区生涯学習推進計画」策定に向けた予定について

事務局（区役所）より、「第4次生涯学習大阪計画」の策定スケジュールや大阪市社会教育委員会議意見具申等も含め、今後の予定について説明。現時点ではあまり情報がないが、できる限り情報を収集しながらスピード感を持ってすすめて

いきたい。

### 3 その他

#### (1) 副区長よりお礼

前回の会議の際に「PDCA サイクル」を回すことが必要だというお話があったが、本日の会議にて皆さまにご説明させていただいた。これを機に生涯学習の横展開につながっていくことができればと思っている。時間の関係で委員の皆さんに自由にご発言いただく時間が短くなってしまい、次回会議の運営の際は工夫していきたい。皆さまには会議に限らず折に触れご意見をいただき、区役所として生涯学習の発展に取り組んでまいりたい。

#### (2) 辻川委員長より総括

出席委員に対してのお礼。

来年度は委員改選の年となるので、各団体へ委員の推薦等にご協力いただきたい。

第4次の淀川区生涯学習推進計画についても、皆さんにご納得いただけるような素案をまず作り上げていきたい。生涯学習社会の実現に向けて努力してまいりたいので、引き続きご協力をお願いしたい。